

# 掲載内容

年月日	2024年8月16日
メディア名	Health Day News（ネットニュース）
掲載者	産科婦人科学教室 尾林 聡
内容	日本の急性期病院に入院している高齢患者を対象に、患者の状態の変化に着目し、大腿骨近位部骨折（PFF）リスクの予測因子を検討する研究が行われた。その結果、入院中に移動能力が改善した患者は骨折リスクが高く、移動能力の変化をモニタリングすることで骨折の予測精度が向上する可能性が示唆された。